

# 28 & 50MHz帯高利得2バンドアンテナ

## CA-350DB COMET ANTENNA

### ■取扱説明書

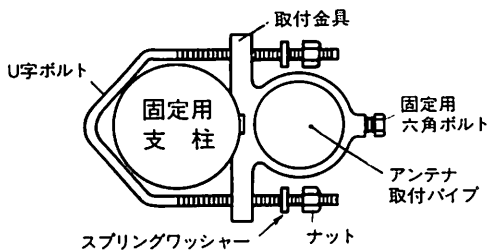
このたびはコメットアンテナをお買求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み下さいまして正確にお使い下さい。

### 特長

- 新開発の位相器ダブルスーパーリニアコンバータ(PAT.)の開発によりロー・ロス超高利得のアンテナを世に先がけ実現しました。
- アンテナは3分割されており、継ぎ目はアンテナに悪影響を与える金属は使用していません。実績のあるジョイント方法を使用し、挿入後に新開発の樹脂製継ぎ機構部を締めつけるだけで、防水対策がなされます。また、樹脂製継ぎ機構部を外すことにより、簡単に3分割され持ち運びが可能になっています。
- 両バンドとも中心周波数を、調整エレメントの出し入れにより移動することができます。
- アンテナは避雷対策を行い、無線機の保護ができるようにしています。

### 組立方法

- 1) お手持ちのポールへ外観概略図を見ながら、取付パイプを取付金具及びU字ボルトで取り付けます。  
このとき、取付パイプがポールよりも2cm高くなるように取り付け、取付パイプを固定するための六角ボルト(取付金具に付いているボルト M6×8)は手で軽く止めておきます。締めすぎますと、給電部が入らないことがあります。
- 取付金具は図のような形状になります。

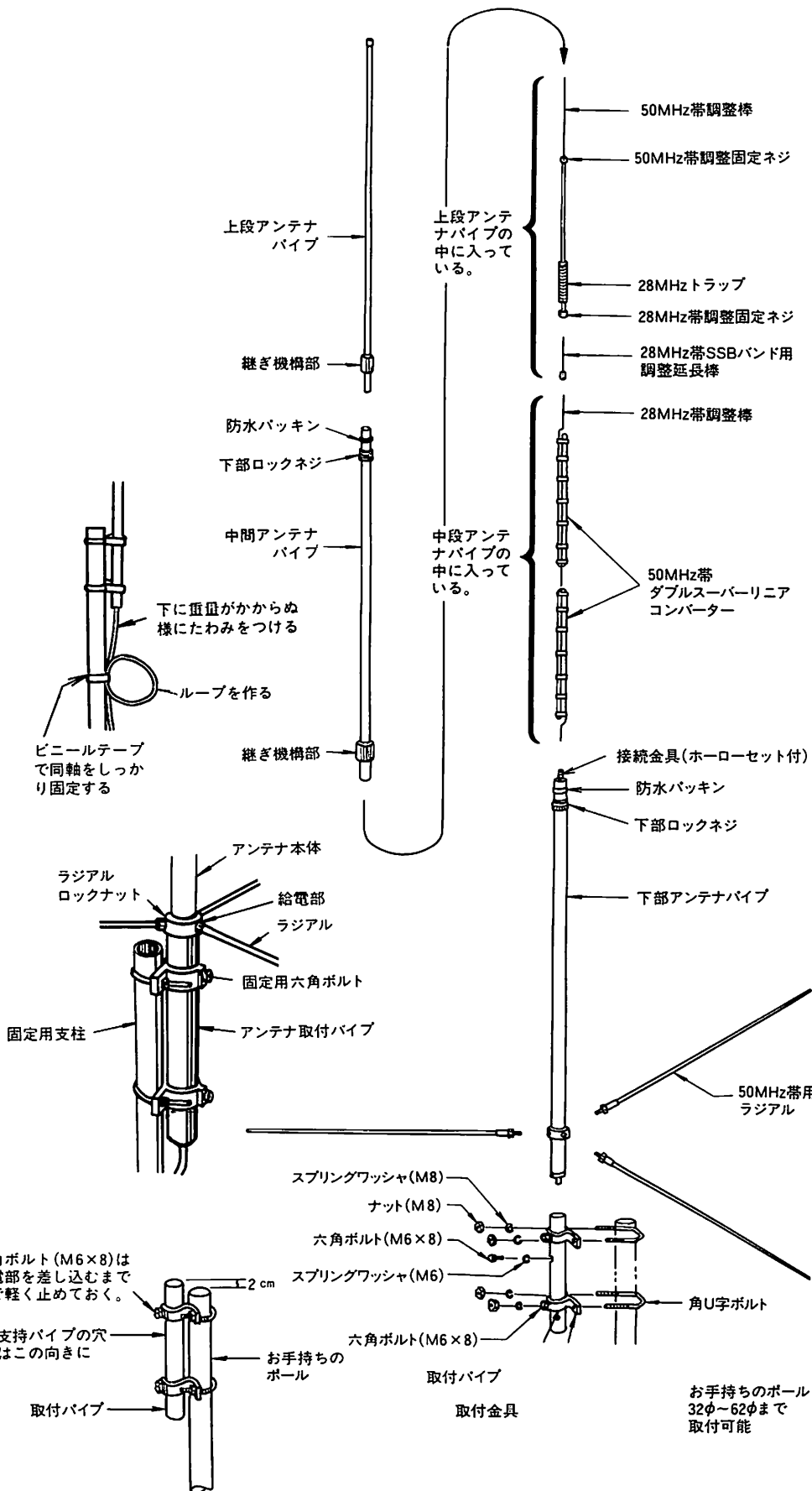


六角ボルト(M6×8)は給電部を差し込むまで手で軽く止めておく。

支持パイプの穴はこの向きに

取付パイプ

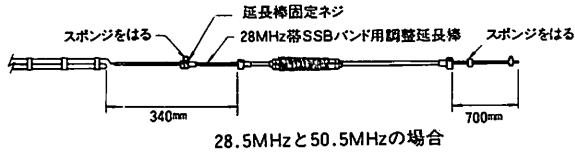
### ★CA-350DB部品図及び外観概略図



お手持ちのポール  
32φ~62φまで  
取付可能

2) 各調整棒の固定

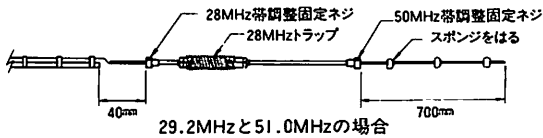
①主に28MHz帯でSSB帯を使用する場合は、28MHz帯SSBバンド用調整延長棒を使用し、下記のような寸法にすればfo=28.5MHzと50.5MHzに調整され、付属の六角レンチで固定します。



そして、延長固定ネジ部及び、50MHz帯調整棒に添付のスポンジを貼って、振動により異音が出ない様にします。

また、アンテナチューナー（アンテナカップラー）を併用することにより28MHz帯すべてのバンドに出ることができます。

②主に28MHz帯をFMバンドで使用する場合は、下記のような寸法にすればfo=29.2MHzと51MHzに調整され、付属の六角レンチで固定します。（28MHz帯SSBバンド用調整延長棒は使用しません。）

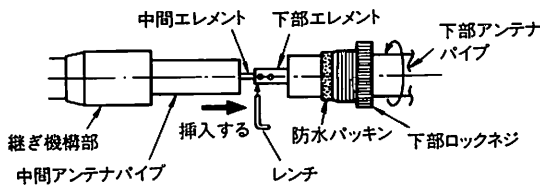


そして、50MHz帯調整棒に添付のスポンジを3~4ヶ所貼って、振動により異音が出ない様にします。

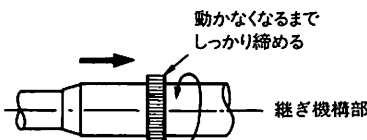
また、アンテナチューナー（アンテナカップラー）を併用することにより28MHz帯すべてのバンドに出ることができます。

③主に28MHz帯をレピーターで使用する場合は、項②と同じ寸法にして、アンテナチューナーを併用して使用します。

3) それぞれ、接なぎ合わせたエレメントを素子に接続し、付属の六角レンチでしっかりロックします。

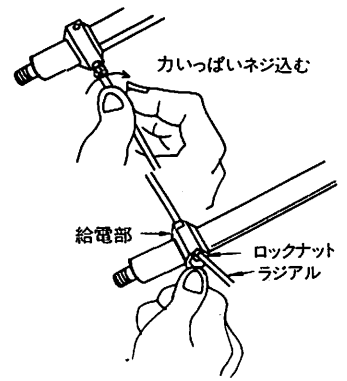


4) エレメントを固定したら、中間アンテナパイプを下部アンテナパイプに当たるまで挿入してください。そして、継ぎ機構部ロックネジを、防水パッキンと一緒に上部機構部に動かなくなるまでしっかり締めつけて下さい。



5) 上部アンテナパイプを中間アンテナパイプに当たるまで挿入し、継ぎ機構部を項4)と同様に締めつけてしまえば、アンテナの継ぎは完了です。

- 6) ラジアルに付いているロックナットをモンキー又はスパナ等、工具で完全にロックします。
- 7) 先ほど取り付けておいた取付パイプに同軸ケーブルを通し、アンテナ給電部のコネクターへ接続し、防水のためコネクターはテーピングします。
- 8) そして、給電部を取付パイプの中へ入れて、六角ボルト(M6×8)とスプリングワッシャー(M6)で固定します。
- 9) 項1)で手で締めつけておいた六角ボルトをロックします。



調整方法

●28MHz帯及び50MHz帯を、よりよく希望の周波数へ調整したい場合は、28MHz帯から調整いたします。28MHz帯の中心周波数調整中は、50MHz帯の中心周波数が動くためです。

28MHz帯の調整が終わりましたら、50MHz帯の調整棒の出し入れにより、希望の周波数に調整します。

●SWRが高い場合は、同軸ケーブルの雨による浸水、コネクター等の接続部、ハンダ付け部分をじゅうぶんにチェックして下さい。また、このアンテナはアレスタータイプですので、コネクターの芯線とアース側を測りますと導通はありません。（アンテナエレメントとコネクターのアース側はショート導通状態です。）

送信空中線規格

★規格

周波数：28~29.7MHz 50~52MHz  
インピーダンス：50Ω

利得：2.15dBi (28MHz帯)  
6.5dBi (50MHz帯)

SWR：1.5以下 (foにて)

耐入力：200W (SSBにて)

接合耐風速：30m/sec (瞬間最大)

全長：6.9m

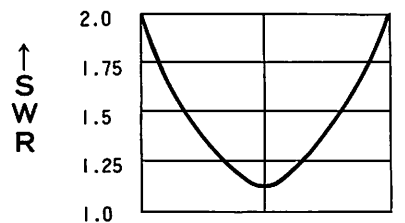
ラジアル長：約1.5m

重量：2.9kg

適合ポール径：32φ~62φ

仕様：28MHz帯………1/2λGP  
50MHz帯………5/8λ2段GP

★周波数特性



28MHz帯 -0.38MHz fo +0.38MHz  
50MHz帯 -0.6 MHz fo +0.6 MHz

コメント株式会社

本社：〒335 埼玉県戸田市美女木1230 ☎0484-21-7921(代) FAX. 0484-22-1038  
札幌営業所：〒004 北海道札幌市白石区厚別南4-34-3 ☎011-892-7575 FAX. 011-892-7571  
仙台営業所：〒982-01 仙台市若林区上飯田横堀87-1 ☎022-285-9506 FAX. 022-285-9507  
大阪営業所：〒560 大阪府豊中市壘池東町4-1-15 ☎06-844-0693 FAX. 06-853-2011  
福岡営業所：〒816 福岡市博多区井相田2-2-5 第3七福ビル ☎092-592-2531 FAX. 092-592-2532

性能向上の為、予告なく外観、仕様を変更する事があります。